



浴槽の中で桶を洗う

広瀬始親氏撮影寄贈・横浜開港資料館所蔵



「ケロリン」 戸塚区・矢部の湯寄贈 横浜市歴史博物館所蔵



のれん 戸塚区・矢部の湯寄贈 横浜市歴史博物館所蔵

## ちょっと昔のお風呂屋さんへようこそ！

戦後、横浜市域の銭湯は、戦争による被害を乗り越えて増加し、昭和40年代には340軒を超えてピークを迎えます。その背景には高度成長期の労働者の増加がありました。集団就職や出稼ぎ労働者など、多くの人びとを受け入れた臨海部では特に需要が高く、公衆衛生に銭湯が果たした役割は大きかったといえます。

その後、家庭風呂の普及率の上昇や健康ランド・スーパー銭湯ブームなどによって昭和60年代以降、市内の銭湯は減少していきます。平成29年には70軒を下回りましたが、破風造りの建築や番台、富士山のペンキ絵など、昭和の懐かしさを伝えてくれる施設として、また災害時に入浴機会を提供してくれる施設として、銭湯は時代と社会のニーズに温かいお湯を通じて応えています。

本展覧会では、銭湯が身近にあった高度成長期以降の昭和時代を中心に、戦後から現代に至るまでの横浜市内の銭湯の移り変わりや、横浜の発展を支えた人びとへのやすらぎの場や衛生面を担ったお風呂屋さんのくらしをご紹介します。

営業終了後に電車の玩具を抱えて入浴する男の子  
広瀬始親氏撮影寄贈・横浜開港資料館所蔵

体重計 戸塚区・矢部の湯寄贈 横浜市歴史博物館所蔵

### 展示構成

1. タイムスリップ昭和
2. ちょっと昔のお風呂屋さん
3. 横浜の銭湯のうつりかわり
4. お風呂屋さんのくらし
5. 横浜の銭湯を支えた人びと

#### ミニ展示「ちょっと昔を探してみよう・冬」

黒電話や炭火アイロンが体験できる、おなじみのミニ展示も企画展示室で同時開催。

広告「太安堂」がついた料金表 昭和38年以降  
戸塚区・矢部の湯寄贈 横浜市歴史博物館所蔵

マッサージ器

戸塚区・矢部の湯寄贈 横浜市歴史博物館所蔵



「おかま型」の椅子式ドライヤー

金沢区・港栄館寄贈 横浜市歴史博物館所蔵

## 横浜市歴史博物館

〒224-0003 横浜市都筑区中川中央1-18-1

TEL. 045-912-7777

開館時間：午前9時～午後5時（券売は午後4時30分まで）

休館日：月曜日（ただし、2月12日は開館）、2月13日

観覧料：無料

アクセス ●横浜市営地下鉄「センター北」駅下車、1番出口から徒歩5分

駐車場あり（1時間200円）

